

授業科目 運動学実習

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学・作業
大西 秀明、久保 雅義、佐藤 成登志		開講時期	前期	必修選択	必修
江原 義弘、桐本 光、鈴木 誠		単位数	2	時間数	60
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎				
【概要・一般目標：GI0】 視覚および各種計測機器を用いて身体運動を計測、分析、記載する能力を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 動作分析装置を利用して計測した生体運動を分析することができる					
2. 視覚により身体運動を分析し、適確に説明できる					
3. 関節トルクを計測できる					
4. 筋収縮と関節トルクとの関係を説明できる					
5. 筋電計を用いて動作時の筋活動を正確に計測できる					
6. 筋電図を解析し、その結果を説明できる					
7. 上位中枢から骨格筋に至る生体電気信号の下行経路を説明できる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	課題Ⅰ：三次元動作分析			1	江原・久保
2	課題Ⅰ：三次元動作分析			1	江原・久保
3	課題Ⅰ：三次元動作分析			1	江原・久保
4	課題Ⅰ：三次元動作分析			1	江原・久保
5	課題Ⅰ：三次元動作分析			1	江原・久保
6	課題Ⅰ：三次元動作分析			1	江原・久保
7	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係			3・4	鈴木誠
8	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係			3・4	鈴木誠
9	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係			3・4	鈴木誠
10	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係			3・4	鈴木誠
11	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係			3・4	鈴木誠
12	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係			3・4	鈴木誠
13	課題ⅢⅠ：筋電図計測・解析			5・6	大西
14	課題ⅢⅠ：筋電図計測・解析			5・6	大西
15	課題ⅢⅠ：筋電図計測・解析			5・6	大西
16	課題ⅢⅠ：筋電図計測・解析			5・6	大西
17	課題ⅢⅠ：筋電図計測・解析			5・6	大西
18	課題ⅢⅠ：筋電図計測・解析			5・6	大西
19	課題Ⅳ：観察による動作分析			2	佐藤
20	課題Ⅳ：観察による動作分析			2	佐藤
21	課題Ⅳ：観察による動作分析			2	佐藤
22	課題Ⅳ：観察による動作分析			2	佐藤
23	課題Ⅳ：観察による動作分析			2	佐藤
24	課題Ⅳ：観察による動作分析			2	佐藤
25	課題Ⅴ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間			6・7	桐本
26	課題Ⅴ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間			6・7	桐本
27	課題Ⅴ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間			6・7	桐本
28	課題Ⅴ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間			6・7	桐本
29	課題Ⅴ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間			6・7	桐本
30	課題Ⅴ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間			6・7	桐本
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		6ステップ臨床動作マニュアル		文光堂	2005・5,200円
参考書					
その他の資料		別途連絡する			
【評価方法】 実習態度、レポート、口頭試問		【履修上の留意点】 ○6名で1班を構成して実習を行う ○5班で1グループ(30名)を構成する Tシャツ・短パンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること 実習に対する予習を十分に行ってくる			